

第2部 今後5年間に実施すべき教育上の方策

第2期教育振興基本計画 第2部 各論 概要 ~4のビジョン, 8のミッション, 30のアクション~

(★成果指標の例, ◆基本施策の例)

(基本的方向性)

(成果目標)

(基本施策)

1 社会を生き抜く力の養成

1 生きる力の確実な育成(幼稚園~高校) ⇒ 生涯にわたる学習の基礎となる「自ら学び、考え、行動する力」などを確実に育てる。

- ★国際的な学力調査でトップレベルに
- ★いじめ、不登校、高校中退者の状況改善 など
 - ◆新学習指導要領を踏まえた言語活動等の充実
 - ◆ICTの活用などによる協働型・双方向型学習の推進
 - ◆各地域の実情を踏まえた土曜日の活用促進
 - ◆高校段階での到達度テスト導入など高校教育の改善・充実
 - ◆道徳教育の推進(「心のノート」の充実・配布、道徳の教科化の検討)
 - ◆いじめ、暴力行為等の問題への取組の徹底
 - ◆教員の資質能力向上(養成・採用・研修の一体的な改革)
 - ◆全国学力・学習状況調査(全数調査の継続実施)
 - ◆子どもの成長に応じた柔軟な教育システム等の構築に向けた、学制の在り方を含めた検討 など

2 課題探求能力の修得(大学~) ⇒ どんな環境でも「答えのない問題」に最善解を導くことができる力を養う。

- ★学生の学修時間の増加(欧米並みの水準) など
 - ◆学生の主体的な学び確立による大学教育の質的転換(アクティブラーニング、教員サポート等)
 - ◆大学情報の積極的発信
 - ◆点からプロセスによる質保証を重視した高大接続(高校段階での到達度テストの結果の活用を含め、志願者の意欲・能力・適性等の多面的・総合的な評価に基づく入試への転換) など

3 自立・協働・創造に向けた力の修得(生涯全体) ⇒ 社会を生き抜くための力を生涯を通じて身に付けられるようにする。

- ◆現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進
- ◆学校内外における様々な体験活動・読書活動の推進
- ◆学習の質の保証と学習成果の評価活用を推進(評価・情報公開の仕組みの構築・普及、教育支援人材の認証制度の推進など) など

4 社会的・職業的自立に向けた力の育成

- ★進路への意識向上や雇用状況(就職率、早期離職率等)の改善に向けた取組の増加(インターンシップ等の実施状況の改善、大学等への社会人入学者倍増)など
 - ◆体系的・系統的なキャリア教育の充実 ◆大学・専修学校等における分野別到達目標の普及、第三者評価制度の構築
 - ◆学生等への就職支援体制強化(就職・採用活動開始時期の変更等) ◆社会人(キャリアアップを目指す社会人、出産等により離職したが再就職を希望する女性など)の学び直しの機会の充実 など

2 未来への飛躍を実現する人材の養成

5 新たな価値を創造する人材、グローバル人材等の養成

- ★大学の国際的な評価の向上 ◆英語力の目標を達成した中高生や英語教員の割合増加
- ★日本人の海外留学生数・外国人留学生数の増加 など
 - ◆高校段階における早期卒業制度の検討 ◆外国語教育の強化や双方向の留学生交流(意欲と能力のある全ての若者に留学機会を実現等)・国際交流の推進、大学等の国際化のための取組の支援
 - ◆大学院教育の抜本的改革の支援 など

3 学びのセーフティネットの構築

6 意欲ある全ての者への学習機会の確保

- ★経済状況によらない進学機会の確保
- ★家庭の経済状況等が学力に与える影響の改善 など
 - ◆各学校段階を通じた切れ目のない教育費負担軽減(幼児教育の負担軽減・無償化の検討、義務教育段階の就学援助の実施、低所得世帯等の高校生等への修学支援の充実、低所得世帯等の大学生、専門学校生への支援の充実)
 - ◆挫折や困難を抱えた子ども・若者の学び直しの機会の充実 など

7 安全・安心な教育研究環境の確保

- ★学校施設の耐震化率の向上(公立学校について平成27年度までのできるだけ早期の耐震化の完了 など)
- ★学校管理下における事件・事故災害で負傷する児童生徒等の減少 など
 - ◆学校の耐震化、非構造部材の耐震対策を含む防災機能強化、老朽化対策の推進
 - ◆主体的に行動する態度を育成する防災教育等の学校安全に関する教育、地域社会・家庭・関係機関と連携した学校安全の推進 など

4 絆づくりと活力あるコミュニティの形成

8 互助・共助による活力あるコミュニティの形成

- ★全学校区に学校と地域の連携・協働体制を構築 ◆コミュニティ・スクールを全公立小中学校の1割に拡大 ◆全学校等で評価、情報提供 など
- ◆コミュニティ・スクール、学校支援地域本部等の普及 ◆大学等のセンターオブコミュニティ構想(COC構想)の推進 ◆家庭教育支援体制の強化 など

4つの基本的方向性を支える環境整備

- ◆教育委員会の抜本的改革 ◆きめ細かで質の高い教育のための教職員等の指導体制の整備 ◆大学におけるガバナンスの機能強化
- ◆大学の財政基盤の確立と施設整備 ◆私立学校の振興 ◆社会教育推進体制の強化 など

東日本大震災からの
復旧・復興支援

第2期教育振興基本計画における成果目標や基本施策の体系イメージ

生涯学習(社会教育・家庭教育等)

学校教育

就学前

義務教育

高等学校等

大学等

I 4つの基本的方向性に基づく方策

(1) 社会を生き抜く力の養成

教育内容・方法、 教職員(質)	成果目標1：生きる力の確実な育成		成果目標2：課題探求能力の修得	成果目標3：自立・協働 創造に向けた力の修得
	【施策1】教育内容・方法の充実 新学習指導要領、ICTの活用、高校教育の改善・充実、復興教育 等		【施策8】大学教育の質的転換 教学マネジメントの改善(シラバスの充実、教員の教育力向上など)、 学修支援環境の整備(TA等の充実、ICTを活用した双方向型授業、 図書館の機能強化)、大学院教育の改善・充実 等	
	【施策2】豊かな心の育成 道徳、生徒指導、いじめ・暴力行為、体罰等への取組徹底、伝統・文化教育(文化芸術体験等)、体験活動 等			
【施策3】健やかな体の育成 学校保健、学校給食、食育、スポーツ 等				
質保証	【施策4】教員の資質能力向上 養成・採用・研修の一体的改革、適切な人事管理 等		【施策9】教育の質保証 大学情報の発信、大学評価改善 等	【施策11】 現代的・社会的課題に対応した学習等 男女共同参画学習、人権、環境、消費者、防災に 関する学習、自立した高齢期を送るための学習、 持続可能な開発のための教育(ESD)、 体験活動・読書活動 等
	【施策5】幼児教育の充実 幼児教育の質の向上、 幼児教育・保育の総合的提供 等			
	【施策6】特別なニーズに対応した教育 合理的配慮の基礎となる環境整備、海外で学ぶ子ども・帰国児童生徒・外国人の子どもへの教育環境の整備 等			
キャリア・職業教育、 就職支援	【施策7】検証改善サイクルの確立 全国学力・学習状況調査、高校段階の学習の到達度を把握する仕組み 等		【施策10】柔軟な教育システムの構築 学校段階間の連携・接続、学制の在り方の検討、点からプロセスによる質保証(入試改革等) 等	【施策12】 学習の質の保証、学習成果の評価・活用 民間教育事業者における評価・情報公開促進 等
	【施策13】キャリア教育・職業教育、社会への接続支援、中核的専門人材・高度職業人の育成 体系的・系統的なキャリア教育の充実、学校横断的な職業教育の推進、社会人が学びやすい学習システムの構築、学生への就職支援体制強化 等			
成果目標4：社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成等				

(2) 未来への飛躍を実現する人材の養成

新たな価値を創造する 人材	【施策14】多様で高度な学習機会等の確保 高専機能強化、SSH、科学の甲子園 等		【施策15】卓越した教育研究拠点の形成 大学院の機能強化 等	成果目標5：社会全体の变化や新たな価値を主導・創造する人材等の養成
グローバル人材	【施策16】外国語教育、双方向の留学生交流・国際交流、大学等の国際化 外国語教育の抜本的強化、留学支援、秋入学に係る環境整備を含む大学等の国際化に向けた支援 等			

(3) 学びのセーフティネットの構築

教育費負担軽減	【施策17】教育費負担の軽減 幼児教育無償化への取組、義務教育段階の就学援助の実施、低所得世帯等の高校生への修学支援の充実、奨学金の充実、授業料減免 等				成果目標6：意欲ある全ての者への学習機会の確保
学習支援・再チャレンジ	【施策18】学習や社会生活に困難を有する者への教育支援 へき地や過疎地域等の学習環境整備、学校とハローワーク・地域若者サポートステーションとの連携 等				
安全・安心	【施策19】教育研究環境の整備や安全に関する教育など児童生徒等の安全の確保 学校施設の耐震化、非構造部材の耐震対策を含む防災機能強化、老朽化対策、安全教育の推進、地域社会・家庭・関係機関と連携した学校安全の推進 等				成果目標7：安全・安心な教育研究環境の確保

(4) 絆づくりと活力あるコミュニティの形成

学習を通じたコミュニティ 形成・コミュニティによる 学習支援	【施策20】活力あるコミュニティ形成に向けた学習環境・協働体制整備 学校支援地域本部・放課後子ども教室、学校・公民館等を拠点にした地域コミュニティ形成、地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール等)、地域スポーツクラブ育成、大学等における生涯学習機能の強化 等		【施策21】COC構想 地域コミュニティの中核的存在としての大学機能強化 等		成果目標8：互助・共助による活力あるコミュニティの形成
家庭教育支援	【施策22】豊かなつながりの中での家庭教育支援 コミュニティの協働による家庭教育支援、課題を抱える家庭への支援、生活習慣づくりの推進 等				

II 4つの基本的方向性を支える環境整備

ガバナンス	【施策23】現場重視の学校運営・地方教育行政の改革 教育委員会の責任体制確立に向けた抜本的改革、地方の主体性・創意工夫が活かされる地方教育行政の確立 等	【施策26】大学におけるガバナンスの機能強化	※成果目標1～8の全体に関係
基盤整備	【施策24】きめ細かくて質の高い教育に対応するための教職員等の指導体制の整備 学級規模及び教職員配置の適正化 等	【施策27】大学の機能強化(機能別分化)の推進	
	【施策25】良好で質の高い学びを実現する教育環境の整備 エコスクール、ICT教育環境、学校図書館 等	【施策28】大学等の財政基盤の確立・施設整備 国立大学運営費交付金や私学助成の確実な措置、戦略的な施設整備 等	
	【施策29】私立学校の振興 公財政支援の充実 等	【施策30】社会教育推進体制の強化 地域の様々な主体との連携・協働による地域課題 解決への支援	

I 4つの基本的方向性に基づく方策(本体P. 35~)

4つのビジョン、8のミッション、30のアクション

- 政策を効果的かつ着実に実施するためのPDCAサイクルの実践
- 平成25~29年度までの5カ年間における具体的施策を提示
- 国全体において目指すべき教育の水準、国自身が行う教育の施策を整理

4つの基本的方向性に基づく方策

No 1 生き抜く力 生きる力の確実な育成	No 2 課題探求能力の修得	No 3 自立・協働・創造に 向けた力の修得	No 4 社会的・職業的自立 に向けた力の育成
------------------------------------	-------------------	------------------------------	-------------------------------

No 5 未来への飛躍 新たな価値を創造する人材、 グローバル人材等の養成	No 6 意欲ある全ての者へ の学習機会の確保	No 7 セーフティネット 安全・安心な教育 研究環境の確保	No 8 コミュニティ 互助・共助の活力ある コミュニティの形成
---	-------------------------------	--	--

4つの基本的方向性を支える環境整備

東日本大震災からの復興

No

1

「生きる力」の確実な育成

変化の激しい社会を生き抜くことができるよう、「生きる力」※1を一人一人に確実に身につけさせることにより、社会的自立の基礎を培う。また、一人一人の適性、進路等に応じて、その能力を最大限伸ばし、国家及び社会の形成者として必要な資質を養う。

(確かな学力※2)

世界トップの学力水準を目指す。

(豊かな心)

豊かな情操や、他者、社会、自然・環境とのかかわり、自らを律しつつ、共に生きる力、主体的に判断し、適切に行動する力などをもつ子どもを育てる。

(健やかな体)

今後10年間で子どもの体力が、体力水準の高かった昭和60年頃の水準を上回ることを目指すなど、生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力を養う。

※1 生きる力: いかにか社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」から成る力

※2 確かな学力: ①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③学習意欲などの主体的に学習に取り組む態度

成果指標例

確かな学力

- ① 国際的な学力調査の平均得点を調査国中トップレベルにする。あわせて、習熟度レベルの上位層の増加、下位層の減少。
全国学力・学習状況調査における過去の調査との同一問題における正答率の増加、無解答率の減少
- ② 児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の改善
- ③ 幼・小・中・高等学校における障害のある幼児児童生徒に対する個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成率の増加

豊かな心

- ① 自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識の向上
 - ・学校のきまりを守っている児童生徒の割合の増加
 - ・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の増加
 - ・人の気持ちがわかる人間になりたいと思う児童生徒の割合の増加
 - ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合の増加
 - ・地域社会などでボランティア活動などに参加している児童生徒の割合の増加など
- ② いじめ、不登校、高校中退者の状況改善(いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の増加、全児童生徒数に占める不登校児童生徒数の割合、高校中退者の割合の減少など)(成果目標6に後掲)

健やかな体

- ① 体力の向上を確実にする(今後10年間で子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることを目指す)。
- ② 学校における健康教育・健康管理の推進
 - ・健康の重要性を認識し、日常生活の実践に生かしている児童生徒の割合の増加
 - ・学校保健委員会を設置する学校の割合の増加
 - ・朝食を欠食する子どもの割合の減少
 - ・学校給食における地場産物を使用する割合の増加

基本施策1 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

- ・新学習指導要領の着実な実施とフォローアップ等
(言語活動、理数教育、外国語教育、情報教育等の充実)
- ・ICTの活用等による新たな学びの推進
- ・高等学校教育の改善・充実
- ・復興に向けた教育の推進
- ・社会的・職業的自立に向け必要な能力を育成するキャリア教育の充実
【基本施策13に後掲】

基本施策2 豊かな心の育成

- ・道徳教育の推進
- ・人権教育等の推進
- ・生徒指導体制及び教育相談体制の整備・・充実
- ・いじめ、暴力行為等の問題への取組の徹底
- ・学校における体験活動及び読書活動の充実
- ・伝統・文化等に関する教育の推進
- ・青少年を有害情報から守るための取組の推進
- ・新学習指導要領の着実な実施とフォローアップ【基本施策1の再掲】
- ・復興に向けた教育の推進【基本施策1の再掲】